岐阜大学教育学部附属小中学校

GIFU UNIVERSITY
Elementary / Junior High

令和３年度教育研究会（二次案内）

文部科学省研究開発学校指定　※令和２年度～令和６年度（延長措置により今年度が一年次）

自己実現に向かう児童生徒の育成

ー新領域「どう生きる科」と教科等の学びをつなぐー

令和３年１１月６日（土）

オンライン(Zoom)開催　※参加費無料

専用申込フォーム

＜受　付＞８：３０～　接続開始

＜全体会＞９：００～１０：００
- 学校概要とご挨拶（統括校長　古賀英一）
- 研究構想説明

＜分科会＞１０：１５～１２：００
「どう生きる科」実践提案、協議

※一次案内で予定しておりました教科等の実践提案は、諸般の都合により、別日での実施を計画しております。

予見不可能な未来を自分らしく生きるため、一人一人が「自分はどう生きるか」を問い続け、納得解や最適解を求め、自己実現していこうとする人間性と思考力の育成を目的とした、義務教育９年一貫の教育課程の研究開発

申込

１０月４日（月）から申込開始
※１１月１日(月)午後４時まで

本校ＨＰかＱＲコードから専用申込フォームに入り、必要事項を記入してください。

参加情報入手

１０月２８日(木)を目途に送付
※これ以降の申込は順次送付

事前視聴用のＵＲＬと参加ＩＤとパスコードを、申込フォームに記載のアドレス宛に送付します。

事前視聴

１０月２９日（金）配信予定
※当日まで掲載

実践提案を事前に視聴の上、教育研究会に参加をお願いします。

岐阜大学教育学部附属小中学校
〒500-8482 岐阜県岐阜市加納大手町74
TEL：058-271-3545，058-271-3507
FAX：058-271-1816
URL：https://www.fuzoku.gifu-u.ac.jp

＜分科会＞

GIFU UNIVERSITY
Elementary / Junior High

通常学級

部	学年	テーマ	実践概要	指導者
Ⅰ部	1年	いろいろな人と仲良くなろう ～みんな大好き！なかよし大作戦～	「学校にはなにがあるの？」という問いから始まった学校探検。その答えを見つけたくて，探検に出かけた子供たちは，先生，お兄さん，お姉さんなどと関わる。そして，気付けば「あの人ともっと仲良くなりたい」と願うようになった。子供たちは，自分だけの「なかよし大作戦」を考え，様々な「人」と仲良くなるためにはどうしたらよいのかを探究していく。	大阪教育大学 連合教職実践研究科教授 田村知子　様
	2年	みんなに美味しい野菜を 食べてもらおう ～わくわく野菜大作戦～	「美味しい野菜を育てたい」「自分の育てた野菜を家族に食べてほしい」といった強い願いをもち，野菜を育てている。その中で，「どれくらいの種類の野菜があるのか」「育つ時期は違うのか」「育てるために必要な物は何か」など，多くの疑問が生まれた。その解決のために仲間とともに探究していく。	
	3年	全校のなかまを笑顔にしよう ～笑顔でつながる！！お花大作戦～	子供たちは，全校のなかまを笑顔にしようと，種や苗から花の栽培をしている。しかし，枯れたり発芽しなかったりと，なかなかうまくいかずジレンマを感じることも多い。そんな状況下で，どうすれば花を咲かせ続けることができるのかを仲間とともに考え，全校のなかまの笑顔につながるかを探究していく。	
	4年	命について考える ～命を大切にするとは～	飼育活動を通して生きる子供たちから生まれた問い「命とは？」。その問いの答えを求めて，常に命と向き合う医療従事者や食肉衛生検査所の方々と語り合う。実生活と対話から生まれるジレンマの中で，自分は命とどう向き合うとよいのかを学び続ける。	
Ⅱ部	5年	みんなが幸せな食環境 ～自分にできることとは～	コロナ禍での給食用牛乳の大量ロス。1本の牛乳の向こうに見える「命」「人」「資源」の繋がりから，子供の中に「みんなが幸せな食環境とは何か？」という問いが生まれた。答えを求めて農業高校生の声を聞いたり，酪農家を訪問したりして，語り合う。理想と現実の違いから生まれるジレンマと向き合い，食環境を支える一員として自分はどう生きるかを探究する。	上越教育大学大学院 学校教育研究科准教授 河野麻沙美　様
	6年	すみよいまちづくり ～そこに住む人々の幸せとは～	「すみよいまちとはどんなまちなのか？」「そのすみよさを生み出すものとは何か？」その問いの答えを求め，まちを歩いて調査をしている。市役所の人やまちで働く人，まちに住んでいる人に出会って話をする中で，自分たちが描く理想と現実の違いから生まれるジレンマに葛藤しながらも，まちをつくる市民の一人として自分はどう生きるかを探究していく。	
	7年	○○な文化を私たちが守る ～未来に残すべき文化のカタチとは～	「文化とは何か？」という問いから始まり，様々な文化に触れる中で感じるその文化の美しさや尊さ，誇り…。しかし，その文化が今，消えかけたり，時代に応じて新しい形に変わろうとしたりしている事実に直面する中で「文化を守るためには？」と自分事として考える子供たち。文化に関わる人との出会いや仲間との対話を通して，文化を未来につなげるための創造的な探究が始まる。	
Ⅲ部	8年	幸せに生きる×テクノロジー ～幸せに生きるとは～	テーマから実生活を見つめ，テクノロジーの存在に気付く子供たち。工業高校の生徒や町工場の方々との対話を通して，様々なテクノロジーに触れる。実生活と対話から生まれるジレンマと向き合う中で，Society5.0の未来を見据え、「幸せとテクノロジー」の視点から探究していく。	郡上市立郡南中学校長 三島晃陽　様
	9年	自分はどう生きるか	「生きる」とはどういうことか。この問いをもとに，様々な人の生き方に触れたり，相反する考えをもつ他者との対話を積み重ねたりする。その中で，生きることに対する価値観を多面的・多角的に構築しながら，予測困難な未来で，自分はどう社会に貢献していくのかを，探究し続ける。	

特別支援学級

Ⅰ部	3･4年	きらきらファイブになろう	「きらきらファイブ」の絵本には，主人公５人が力を合わせてゲームに挑み，記録を伸ばしていく大会の様子が描かれている。自分たちが，主人公「きらきらファイブ」になりきって絵本のストーリーを進める中で，自分の役割を最後までやり遂げることや仲間と協力することの大切さを学んでいく。	岐阜大学教育学部教授 池谷尚剛　様
Ⅱ･Ⅲ部	8年	お客さんに喜んでもらうために	職業調べを通して，「お客さんに喜んでもらえるようなカフェを開きたい」と願いをもった子供たち。社会に出て働く自分の姿を描き，仲間と共にカフェを開く準備をし，実際にお店を開く。その中で，仕事のやりがいを見つけ，働くことの意義について考えていく。	